

政務活動費活動報告（視察）

(1) 出席者（会派名・個人名）

会派 公政会 北村 収、西川 正義、宮田 茂雄、渡辺 史郎、谷口 典隆、
安澤 勝

(2) 実施日：2013年11月6日

【1. 調査の目的】

(1) 本市における現状

2013年7月に行われた参議院議員選挙においても県下最低の投票率であった。どの選挙においても投票率低下が懸念される中、選挙管理委員会も対策を模索し、手立てを講じているが成果がみられない。

(2) 本市における課題

選挙管理委員会の対策が不十分であり、効果が表れていない。

【2. 調査地選定理由】

(1) 調査項目

期日前投票所をショッピングセンター等に設置したことによる投票率の向上について
選定地1：千葉県千葉市

【3. 調査結果】

(1) 内容

本年7月の参議院千葉県選挙区の投票率は49.22%で、青森県、岡山県に次いで全国ワースト3位となった。だが、千葉県内でも投票率が大幅に伸びた場所があった。期日前投票所が設けられた市川市と千葉市美浜区の大型ショッピングセンターで家族連れらの「買い物ついで投票」を狙った作戦が奏功した。

大勢の買い物客が集まる大型ショッピングセンター内に期日前投票所を設けることにより、平成22年に執行された参議院選挙期日前投票率が千葉県内で29388人増加した。このうち市川市は3918人増。千葉市美浜区は3698人増で、両市区で増加分の4分の1を占めた。

美浜区では高洲コミュニティーセンターと言う市の施設で期日前投票所を開設していた1日平均の投票者数は621人(H22参院選)に対し、本年3月の知事選挙からイオンマリニピア店に変更し、1日平均投票者1256人(H25参院選)と大きく投票者数が伸びた。

施設使用料は無償。また、投票所設置費用(パーテーション等)、店内の案内看板、投票所内の備品(書庫、パネル、机、椅子等)はマリニピア負担で、市は電話回線工事費・使用料の負担のみ。選挙人からのアンケート結果も「買い物ついでに投票できて便利になった」との回答が9割を占めた。企業側にとっても投票所開設という社会貢献活動を地元住民にアピールできるメリットがある。

一方、突然の解散総選挙が起こった場合にマリンプア内での場所の確保ができるのか。或いは、投票の安全性確保に伴う人件費の増加や、利便性が向上したことにより選挙人が列をなして待っている状況であり、混雑緩和策等の検討が必要となっている。

(2) 考察

投票区外の選挙人が訪れても投票できないことから、今後県下全域での選挙時に投票できる仕組み作りができればより利便性が増し投票率向上が期待できる。

本市は平和堂のおひざ元。ビバシティがあり、本年10月にはイオンもオープンし、ショッピングセンターは充実している。先進他市の事例を研究し、下がり続けている投票率向上に向けた取り組みが必要と思われる。